

積極的な情報提供せず

産科団体初の指針

超音波の胎児異常検査

妊婦健診で見る超音波画像を利用し、胎児の染色体異常などの可能性を判別する新しい検査について、日本産科婦人科学会と日本産婦人科医会は三十日まで、「こうした検査があることを、産婦人科医が積極的に妊婦に情報提供する義務はない」とする見解を盛り込んだ初のガイドライン(指針)をまとめた。

(3面に関連記事)

「命の選別」歯止め

後頭部浮腫(NT)の計測



胎児の首の後ろのむくみを測る

指針は、検査に関する十分な知識が医師側になく、妊婦への対応もまちまちな医療現場の実情を踏まえ、適切な対応方針を示したものだ。検査そのものは、

クリック
後頭部浮腫(NT)
後頭部厚とも呼ばれる。超音波検査の精度向上で見つかるようになり、染色体異常のリスク指標として位置

付けられる。健常な赤ちゃんでも観察されるが、欧米の大規模な研究では、妊娠初期に厚みが3mm以上あると、胎児の染色体異常の確率が妊婦の年齢によるリスクより高まる。どの関連も指摘されて

本人の大規模なデータはないが、人種差はないとされ、欧米のデータが国内でも用いられる。染色体異常のほか、心臓の病気などの関連も指摘されて

非は判断していないが、結果的に、中絶による「命の選別」につながるかねないとの懸念がある同検査に一定の歯止めがかかりそう

も学会報告が続くなど注目されている。指針は、NT計測について「(母体への)負担は少ないが確定診断ではない」と強調。診断に必要な訓練や経験を積んだ医師が限られていることを挙げて「まだ標準的検査にはなっていない」とし、検査の存在を医師が積極的に知らせる義務はないとの見解を示した。

ただ、医師が意図しなくてもむくみが見つかることがあり、指針はこうしたケースについて「情報提供の希望の有無が確認できていない妊婦には慎重に対応する」とし、妊婦に説明するかは個々の医

検査は、胎児の首の後ろのむくみである「後頭部浮腫(NT)」の厚みを妊娠初期の超音波画像で計測するもので、一定以上の厚みがあるとダウン症や18トリソミーといった染色体異常などの確率が通常より高まる。

あくまで可能性にすぎず、NTの所見があっても健康な赤ちゃんが生まれるケースもある。一九九〇年代に欧米で研究が進み、日本で

合併4年
政策争点
任期満了に伴う三次
市長選が三十日、告示
された。いずれも無所
議の村井政也氏(63)Ⅱ
で、現職の吉岡広小
国民新推薦Ⅱが立候補
合併後四年間のまち

師の判断に委ねた。説明する際にはむくみの厚さと染色体異常リスクの関係や、確定診断には羊水検査が必要なことなど、正確な妊婦健診で偶然見つかるケースも多く、そう

現・新が一騎打ち

合併4年 政策争点 三次市長選が告示

任期満了に伴う三次市長選が三十日、告示された。いずれも無所議の村井政也氏(63)Ⅱで、現職の吉岡広小国民新推薦Ⅱが立候補。合併後四年間のまち

三次市長選立候補者

 吉岡広小路 48 無現Ⅰ 市長(県市 長会会長、 県議) 南畑 敷、早稲田	 村井 政也 63 無新 会社役員 (市議会副 議長、会 員) 昌敷、 関西学院大
--	--

【注】写真の下は現職(主な経歴)▽現住所▽最終学歴



300人 観客世界新



超音波胎児検査

初の指針がまとまった、超音波利用の出生前検査。妊婦に負担を掛けない利点の一方、不正確な診断に振り回されるケースも少なくないという。「命の選別」につながるなどの懸念もある中、技術の進歩に社会がどう向き合うかが問われている。

あいまい、診断悩む親も

技術訓練の場不足

妊婦へ十分な説明必要

「積極的に勧めはしないが、偶然分かった場合は異常の確率が何パーセントぐらいか、また確定診断に必要な羊水検査とそのリスクについても両親に説明する」。埼玉医大総合医療センター（埼玉県川越市）の馬場一憲教授は言う。

指針は「検査の存在を妊婦に積極的に知らせる義務はない」としたが、たまたま分かった首のむくみを指摘された胎児の超音波画像。不正確な診断で妊婦が翻弄されることもあるという。



「積極的に勧めはしないが、偶然分かった場合は異常の確率が何パーセントぐらいか、また確定診断に必要な羊水検査とそのリスクについても両親に説明する」。埼玉医大総合医療センター（埼玉県川越市）の馬場一憲教授は言う。

知る権利奪えず

「子どもを産んで育てるのは親。胎児に関する情報を知る権利が両親にはある。得られた情報を知らせず、中絶の選択肢を両親から奪つことはできない」。

と馬場教授。「海外で談ずると「今までそんな所見はなかったと思ふ子が生まれた親から『どうして教えてくれなかったのか』と訴えられることもある」という。

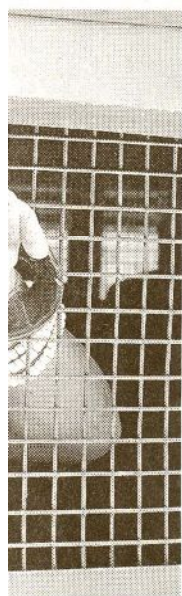
神戸市で学習塾を経営する杉野広之さん（38）の妻知夏さん（29）は、里帰り出産で初めて訪れた産科で、医師から「首にむくみがある」と言われた。「見間違いかもしれないけど」と自信なさそうに口調だったという。

それまでの病院に相対する。この際、染色体異常のサインとなる首のむくみ（後頸部浮腫、NT）が見えてしまふことがあるという。

ブラックホールで地球消滅

【ワシントン30日共同】欧員らが、CERNや州合同原子核研究所（CEルギー省などを相手RN）がスイス・フランス国の差し止めを求め境で建設中の巨大加速器で、ハワイ連邦地裁生成されるブラックホールした。米ニューヨークに、地球がのみ込まれる恐れが紙が二十九日報れがある。こう主張する。加速器は一周二十ハワイ在住の元米政府職、世界最大の「大型ハ

パール



内
京

く異なる。

「日本には技術を使
いこなすトレーニング
の場がほとんどない。
誤った計測で赤ちゃん
の命が左右されること
があつてはならない」
と夫医師。

ただ、習熟した医師
が増えれば、検査がそ
れだけ浸透する。障害
がある人を排除する社
会にならないかとの懸
念は増す。

欧米は研究進む

欧米ではダウン症の
赤ちゃんを見分ける目
的でNTの研究が進ん

だ。デンマークではN
Tを中心とする出生前
検査が全国規模で推進
され、ダウン症の出生
数が半減したとの報告
もある。

臨床遺伝専門医の
長谷川知子さんは
「技術の進歩はあつて
当然だが、技術に振り
回されてはならない。
医師には説明に際し十
分配慮する義務があ
る。妊婦の知る権利を
満たすには、最低一時
間はかけてあらゆる可
能性と選択肢を示すこ
とが必要だ」と指摘し
ている。